

鹿市医郷壇



533 樋口 一風 選

兼題「茶」(ちゃ)

天

茶一杯が町内会の潤滑油

紫南支部 二軒茶屋電停

(唱) 良か茶の香で物言も和ん

(評) 最近鹿児島のコマーシャルでも、「お茶一杯〇〇」と言うのを目にします。

昔から、道路を歩いていると、「ま、茶一杯飲んで行かん」と知り合いから呼び止められるものでした。

それほどまでに、鹿児島の人はお茶を生活に取り入れていたのでしょうか。

この句では、お茶は、町内会の潤滑油と詠んであります。田舎では、町会の寄合は大概夜でした。

地

ゆったりと茶を飲みながら話し合いをする、余り採めないで話が纏まったことでしょうか。

ゆつたりと茶を飲みながら話し合いをする、余り採めないで話が纏まったことでしょうか。

上町支部 吉野なでしこ

茶を点てつ背筋もしゃんち若返つ

御点前

(唱) 年季の入った見事て御点前

(評) 若い頃、お茶の稽古をしたときのことを思い出しました。先ず正座が苦手な私には苦しいものでした。でも男性の袴姿は恰好良いと煽てられて、我慢して稽古をしました。それも長続きしなくて、小習いで終わつたような気がします。

お点前をする、この句のように背筋がしゃんと伸びて、気持ち引き締まるものでした。膝を痛めた今は、正座が出来なくなり、お茶も頂けません。

人

お茶飲んけ来ち誘そ友達も少のなつ

伊敷支部 谷山五郎猫

(唱) 良か茶請けで語つた昔

(評) 以前までは、親友が「茶飲んけ来ち」と到来物のお茶菓子などを持って訪ねて来たり、「暇なら茶飲んけ来んな」と誘いが来るものでした。でも歳を取ると、友達も亡くなったり、施設に入りたりして寂しくなりました。

この句も、そのところを嘆いており

秀逸

猫舌を笑るたや我があ茶で火傷美味して直き空れない茶漬け飯

清滝支部 鮫島爺児医

活つ入るい友人が逝たなあ呆やすなつ

白澤 黒猫

新天地飯しゃ食たるかい心配な婆

西 幸子

好つ言たやおてちき食えち毎日石踏

山元 自在鉤

背痛が出た大男け灸が叫ぼせつ

山元 自在鉤

郷句募集

◎7号 題吟「六月灯(ろっがっど)」

締切 令和6年6月5日(水)

◎8号 題吟「メール(めーる)」

締切 令和6年7月5日(金)

◇選者 樋口 一風

◇漢字のわからない時は、カナで書いてご応募ください。選者が適宜漢字をあてさせていただきます。

◇応募先 千八九二一〇八四六
鹿児島市加治屋町三番一〇号
鹿児島市医師会「鹿児島市医報」編集係
TEL 〇九九一二二六―三七三七
FAX 〇九九一二二五―六〇九九
E-mail: ihou@city.kagoshima.ned.or.jp

鹿市医郷壇



533 樋口 一風 選

兼題「茶」(ちゃ)

天

茶一杯が町内会の潤滑油

紫南支部 二軒茶屋電停

(唱) 良か茶の香で物言も和ん

(評) 最近鹿児島のコマーシャルでも、「お茶一杯〇〇」と言うのを目にします。

昔から、道路を歩いていると、「ま、茶一杯飲んで行かん」と知り合いから呼び止められるものでした。

それほどまでに、鹿児島の人はお茶を生活に取り入れていたのでしょうか。

この句では、お茶は、町内会の潤滑油と詠んであります。田舎では、町会の寄合は大概夜でした。

地

ゆつたりと茶を飲みながら話し合いをする、余り採めないで話が纏まったことでしょうか。

ゆつたりと茶を飲みながら話し合いをする、余り採めないで話が纏まったことでしょうか。

上町支部 吉野なでしこ

茶を点てつ背筋もしゃんち若返つ

御点前

(唱) 年季の入った見事て御点前

(評) 若い頃、お茶の稽古をしたときのことを思い出しました。先ず正座が苦手な私には苦しいものでした。でも男性の袴姿は恰好良いと煽てられて、我慢して稽古をしました。それも長続きしなくて、小習いで終わつたような気がします。

お点前をする、この句のように背筋がしゃんと伸びて、気持ち引き締まるものでした。膝を痛めた今は、正座が出来なくなり、お茶も頂けません。

人

お茶飲んけ来ち誘そ友達も少のなつ

伊敷支部 谷山五郎猫

(唱) 良か茶請けで語つた昔

(評) 以前までは、親友が「茶飲んけ来ち」と到来物のお茶菓子などを持って訪ねて来たり、「暇なら茶飲んけ来んな」と誘いが来るものでした。でも歳を取ると、友達も亡くなったり、施設に入りたりして寂しくなりました。

この句も、そのところを嘆いており

秀逸

猫舌を笑るたや我があ茶で火傷美味して直き空れない茶漬け飯

清滝支部 鮫島爺児医

活つ入るい友人が逝たなあ呆やすなつ

白澤 黒猫

新天地飯しゃ食たるかい心配な婆

西 幸子

好つ言たやおてちき食えち毎日石踏

山元 自在鉤

背痛が出た大男け灸が叫ぼせつ

山元 自在鉤

郷句募集

◎7号 題吟「六月灯(ろっがっど)」

締切 令和6年6月5日(水)

◎8号 題吟「メール(めーる)」

締切 令和6年7月5日(金)

◇選者 樋口 一風

◇漢字のわからない時は、カナで書いてご応募ください。選者が適宜漢字をあてさせていただきます。

◇応募先 千八九二一〇八四六
鹿児島市加治屋町三番一〇号
鹿児島市医師会「鹿児島市医報」編集係
TEL 〇九九一二二六―三七三七
FAX 〇九九一二二五―六〇九九
E-mail: ihou@city.kagoshima.ned.or.jp